

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2023年10月20日号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール入賞者へのインタビュー インタビュアー：正木裕美

第8回仙台国際音楽コンクール開催から1年余り、ヴァイオリン部門第4位のホン・ソンランが、宮城教育大学交響楽団の定期演奏会やボランティア企画によるリサイタルのために再び来仙しました。「仙台のコンクールは4曲もの協奏曲をオーケストラと協演することができる」とポジティブに話すホン・ソンランに、改めてコンクールへ参加したきっかけや印象を語ってもらいました。



—— コロナ禍以降、アジアで初めて開催されたのが2022年の仙台国際音楽コンクールでした。まずはこのコンクールに参加した動機を教えてくださいませんか？

高校生の時にYouTubeで仙台のコンクールの様子を見てから、ホールが綺麗で韓国から近い事もあり、参加したいと思っていました。過去にクララ・ジュミ・カン、チャン・ユジン、キム・ボムソリなど、韓国で有名なヴァイオリニストが参加していたことも大きいです。またこの時期コロナ禍で他の様々なコンクールが延期や中止になったこともあり、是非この機に受けたいと思いました。

—— 仙台のコンクールは予選のJ.S. バッハを含めて4曲の協奏曲が課題曲として課せられています。ハードだと思う参加者もいるようですが、負担には感じませんでしたか？

4曲の協奏曲を勉強できるだけでなく、ラウンドが進めばそれだけオーケストラとの協演も重ねることができます。また参加にあたって課題曲を全部一から勉強するのではなく、師事するヤンウク・キム先生のもとで一部をすでに勉強していたため、大きな負担にならず、タイミングとしてもちょうど良かったのです。

ただ、韓国にいるときには練習したので大丈夫だと思っていましたが、期間中は特に次のラウンドに行くまでの時間が少なく、またファイナルは2曲弾かなければならないため、準備ができるか心配でした。特にファイナルで弾いたプロコフィエフの2番やモーツァルトのイ長調K219は初めて弾いた曲でしたので、緊張もしました。

—— ヴァイオリン部門の指揮を務めた広上淳一さんとオーケストラとのやりとりや印象を教えてください。

プロコフィエフはリズムやオーケストラとのタイミングが大切です。アンサンブルが難しいため、指揮者との打ち合わせの時間に広上さんと話し合っ自分の考えを共有し、オーケストラとのリハーサルでも確認しました。皆さんフレンドリーでとても親切に接して下さったため、本番も安心して協演できましたし、演奏しやすかったです。

—— 街の様子など、他に印象に残っていることはありますか？

コンクールの時はあまり外出できませんでしたが、仙台は地下鉄も綺麗ですし、今回再び来てみて、お店など、どこへ行っても皆さん親切です。またコンクールではボランティアさんが沢山いて管理・運営面が徹底されているのも良いですね。出場登録の際にボランティアさんがホテルからどうやって地下鉄に乗ってコンクール会場に行くかをすごく丁寧に教えてくれました。またホテルや練習会場への道順を写真や地図付きのメールで運営事務局が送ってくれるなど、とてもサポートが充実していました。そういった点がいずれも仙台ならではの良さだと思います。

—— 現在ソウル国立大学の4年生に在籍していますが、目標とするヴァイオリニストや、この先の展望を教えてくださいませんか？

ヤンウク・キム先生はもちろん、ダヴィッド・オイストラフ、ジャーヌ・ヤンセンも大好きなヴァイオリニストです。ヤンセンは女性ですがとてもエネルギーがありパワフルな演奏をしますし、ステージでの振る舞いがとても格好良く憧れます。ヤンウク・キム先生からはレッスンの際に音楽に対する深い理解が感じられるのですが、先生はステージでの演奏にもそれが表れています。私も同じように聴いている人たちに感じていることを伝え、共有したいと考えていますので、先生のそのような姿勢に共感し、目標としています。そのため今後はソウル国立大学の大学院へ進んで引き続きヤンウク・キム先生のもとで学び、将来的にはドイツで勉強してみたいと思っています。



「野島 稔メモリアル」を開催します。

仙台国際音楽コンクール第1回から第7回までピアノ部門審査委員長、2020年からは運営委員長を務め、2022年5月にご逝去された野島稔氏への敬意と感謝の意を込めて、「野島 稔メモリアル」として演奏会を開催します。



©YOKO SHIMAZAKI

もっと教えて野平一郎先生 ～鍵盤楽器の歴史と魅力～

第9回仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長 野平一郎先生をお迎えし、鍵盤楽器の変遷や現代ピアノの魅力のお話と、ポジティブオルガン・チェンバロ・ピアノの演奏をお楽しみいただきます。

日時：2024年3月30日（土）14:00 開演
会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール
曲目：J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻より
J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988 アリア

本公演をより深く理解していただくために、事前レクチャーを開催します。

日時：2024年1月21日（日）14:00 開演
会場：仙台中央音楽センター IVy HALL
申込方法：事前申込（入場料無料）
申込締切：2024年1月4日（木）
※申込フォーム・往復はがきのいずれかからお申込ください。
※詳細は仙台国際音楽コンクール公式サイトをご覧ください。



申込フォーム



©kisekimichiko



中野りな&ルウオ・ジャチン デュオリサイタル

～第8回仙台国際音楽コンクール優勝者による夢の共演～

2022年第8回コンクールの覇者、2人によるスペシャルコンサート。同一回の優勝者による夢の共演が、仙台で実現します。

日時：2024年3月31日（日）14:00 開演
会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール
曲目：シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 op.105
サン＝サーンス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 二短調 op.75 ほか

チケットは11月15日（水）発売です。
詳しくは仙台国際音楽コンクール公式サイトをご覧ください。



仙台国際音楽コンクール公式サイト